

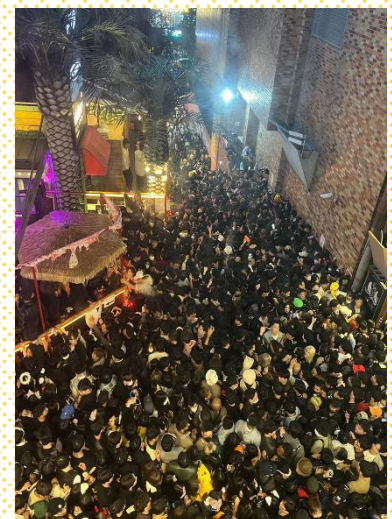
児童朝会 校長の話 11月7日

10月31日はハロウィンでした。仮装して街を歩いた人もいたかも知れませんね。韓国のイテウォンという街ではハロウィンのイベントでたくさんの人が集まり、10月29日の土曜日に大きな事故が起きました。

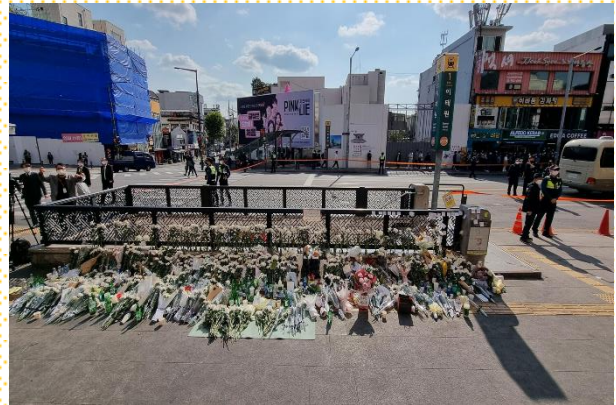
この日イテウォンには10万人くらいの人が集まっていたそうです。世界飲食文化通りという、いろいろな国のレストランが並んで賑やかな通りがあります。そこから地下鉄の駅に向かう人の流れがありました。また、地下鉄の駅を出て世界飲食文化通りに向かう人の流れがありました。これが細い坂道でぶつかり合いました。多くの人たちが身動きの取れないギューギュー詰めの状態になりました。

この写真は10時に事故が起きる前の世界飲食文化通りの様子です。人と人が押し合い、胸が苦しく息が吸えないくらいだったそうです。そして次の写真が、事故の起きた坂道の様子です。

人が1㎡に10人集まると「群衆雪崩」という現象が起きるそうです。全校朝会で私が乗っている朝礼台は1㎡より少し広いので、朝礼台に13人くらい乗った状態です。背が高めの人を押されて宙に浮いて足が地面に付かなくなります。背が低めの方は押しつぶされて人の下にもぐようになります。そこで誰かが倒れ



ると一気にその上に人が折り重なり、重なった人が起き上がれなくて次々に倒れ、下になった人たちが押しつぶされていきます。実際に事故が起きた当時、1㎡に15～17人くらいの人が集まっていたそうです。つまり朝



礼台に20人くらいの方が集まっている状態です。10代から20代の若い人たちが中心に150人以上が亡くなってしまいました。そして150人以上の方が怪我をしました。立ったまま息ができなくて気絶した人たちがたくさんいたそうです。救急車が到着しても人が溢れかえっていて隊員の人たちが現場になかなか到達できませんでした。到達しても、人が多く折り重なっていて下の人を引っ張り出すことができなかったそうです。事故現場にいて助かった人は、立ったまま意識を失い始めたとき、道の脇のお店の方が水をかけてくれて目を覚まし必死に耐えたそうです。救急車が到着してから自分が救助されるまでに1時間以上かかったそうです。

事故現場にはたくさんの花束が手向けられていますが、失ってしまった尊い命は取り戻すことはできませんね。

学校生活の中でも、人が密集することはありませんね。体育館に入るときの入り口や登校で門を開けて入る時などに見かけます。一旦密集して身動きが取れなくなると、そこを抜出すことはできないそうです。事故に巻き込まれないようにするには、人の集まっている場所を避けて近づかないようにするしかありません。人が集まっているところでの危険な行為は「押すこと」と「走ること」だそうです。同じ速さで同じ方向に進んでいるときは大丈夫ですが、押したり、走ったりすることでぶつかって倒れることになります。

今、コロナ感染が少なくなってきて、今までできなかった行事やイベントが再開しています。人が多く集まることも増えています。自分の身は自分で守り、自分の命も人の命も大切にして、安全に生活してください。

さて、音楽会に向けて一生懸命練習していますね。だんだん曲が仕上がってきました。5年生は一足先に、今週の金曜日、連合音楽会に出演します。難しい曲に挑戦して頑張っています。みなさんも5年生を応援してくださいね。